



代表：鈴木 詔一

連絡先：担当 丸山 勝寿

(080-8203-7447)

## 民の声を聞け！デタラメな安倍政権は即退陣

\* 1 \* 安倍政治で「いのち」は守れない  
あつという間に世界中に感染拡大し不安を広げたコロナウイルス（Covid19）は世界的に第2波の感染は免れない勢いです。いまの危機は日常的に充実すべき医療や福祉などを削減してきたツケが回ってきたのです。医療体制を充実するための必要な予算を取ろうともせず、検査件数が圧倒的に少ない中で統計的に罹患者を少なく見せかけようとしていると思われます。発症してはじめて気付く対応では、罹患者が低く出ているとしても、安心できる状況ではありません。

### \* 2 \* 「腐れ縁政治」にサヨナラを！

コロナ禍で苦しむ人々への事業継続支援金を「幽霊企業と指摘される、サービスデザイン推進協議会」をトンネルに お友達企業の電通やエコナなどへ血税を垂れ流しています。国民の禍でひと儲けなどは許さない

コロナに勝つ、医療の充実と生活の保障を

### \* 3 \* 集中すべきは まず医療体制

世界中の安全が確保できない中では、感染爆発を避けるためにも、巨大な金がかかることからも、オリンピックは中止すべきでしょう。少なくともパンデミックの収束が確実になるまで延期させよう。世界中から参加する競技者の安全のためにも！

私たちの生きている地球では、新自由主義の下で巨大資本の利益に奉仕する政治がはびこり、人間は自然を超越したかの錯覚に酔っている。軍事拡大・温暖化・大気汚染・水汚染・原発・薬害・動物などの資源化…をやめて、自然と調和して生きること「いのち」に謙虚に向きあうこと治療薬の開発・救命機器など「Covid19」や「未知のウイルス」対策こそ大切。

### \* 4 \* 次号に続く

水島朝穂

水島朝穂早稲田大学教授の平和憲法メッセージ

(6月1日) から転載させて頂きました。

安倍政権は官邸が突出これまでも数々の隠蔽・改ざんをしてきましたが、コロナ禍での政権の対策でも「科学的根拠なき政治」「議事録も記録も、そして記憶もない」と厳しく指摘しています。「子どもたちの人生を変えてしまった『全国一斉休校要請』。そこは感染症の専門家だけではなく、教育関係の専門家、さらには所管の文科省の意見を聞いてから行うべきだった。」と、国のリーダーとして不適格であると断言しています。教授は最後に、吉幾三の歌「俺らこんな村いやだ」を替え歌にしています。

ご紹介します、歌つてみて下さい。

幕田 和子

「俺らこんな国いやだ」  
記録もねえ、記憶もねえ、  
譲事録まったくとつてねえ、  
金（給付金）もねえ、マスクもこねえ、  
コロナ対応うそばかり、  
誠意もねえ、真摯でねえ、  
補償もねえ、謝罪もねえ、  
検事長選3賭けマージャン、  
カラオケねえ、ジムもねえ、  
届いたマスクは欠陥品、  
俺らこんな国いやだ、俺らこんな国いやだ…

## 仙南九条の会連絡会の歩み（その3）

講演会から2か月後、実行委員会は「仙南九条の会連絡会」と名を変えて活動開始です。

安保法制は閣議決定を経て国会審議で強行されそうな時でした。待ったなし！

2015年6月には蔵王町9条の会で弁護士・佐久間恵子さんをお呼びし、学習会「安保法制—これはひどい安倍内閣の戦争する国づくり」を開催。そして、8月30日大河原で「戦争法廃案！安倍政権退陣！仙南集会・アピール集会」開催。当日は土砂降りで参加者はカッパに雨傘、長靴といういでたちでしたが、イベントホールは満席でした。9月には青年九条の会主催による「9.19安保法案反対デモ in 船岡」。青空の下、デモする側も路上で手を振る方も笑顔でした。10月には村田集会、11月には角田集会、12月には白石集会。歩きながら見るわが町の静けさやシャッター通り、路上から声援してくれる町の方に笑顔で返す。こんな光景を私は想像していませんでした。「集まれば力、集まれば行動につながり」、そして、「歩けばまた広がる」のです。



安倍内閣は今、コロナ禍の時でさえもミサイルを爆買いしています。たくさんの隠ぺいや悪法通しを行いながら戦争への道を進むために憲法改正発議をしようとしています。でも、あきらめないのが私たちの得意技！

なぜなら、私たちは今を生きながら未来につなげていく使命があるからです。私たちの子や孫たちに平和をつなげなければいけないからです。

ごいっしょに力をつくしましょう。

＜白石憲法九条を守る会 幕田和子＞

## 全国首長九条の会までの10年（その2）



結成に至るまでの10年、その原動力になった方がいる。それは佐藤懸さんである。2014年仙南地方の九条の会の総力をあげて、九条の会事務局長の東大教授小森陽一さんを呼び講演会をすることが決定した。理由は二つある。第一は仙南地方の九条を守る市民の理論武装をすること。第二は講演会を契機として仙南の2市7町すべてに九条の会をつくることである。当然、発案者であった懸さんが事務局長に選ばれた。準備中の2015年、その懸さんに病魔が襲った。上顎癌である。

強烈な痛みに耐えて彼は事務局長の仕事に専念した。それを見兼ねて教え子である幕田和子さんが私を訪ねて「事務局長は辞任させて下さい」と言った。私は答えた「それはできません。懸さんはこの仕事に命を賭けている。辞めるということは死ねということです。仕事はあなた達がやってそれを事務局長に報告しなさい」。2015年4月4日の講演会は大盛況だった。しかし会場に彼の姿はなかった。3月24日、帰らぬ人となったのである。東北6県市町村九条の会が呼びかけ人となり「全国首長九条の会」が結成される時、小森さんは九条の会の事務局長でありながら、結成事務局の一員として尽力して下さった。佐藤懸さんの志の高さに対する感動が、小森さんを動かしたと、私は考えている。

＜全国首長九条の会共同代表 川井貞一＞

## コロナ禍と公立刈田総合病院問題(その1)

### 《「山田市長暴走阻止の顛末」のチラシ

#### 1市2町に配布される》

公立刈田総合病院（以下、刈田病院）の公設民営検討～白石市、指定管理者制度目指す～（3月13日付け河北新報）、七ヶ宿町長「了解困難」刈田病院の公設民営化について議会で見解（3月14日同）、5月7日の正副管理者会議（白石市長、蔵王町長、七ヶ宿町長）で、「宮城県地域医療構想（仙南地区）」を基に県南中核病院との連携を進め、経営改革を進めていくことを決定している。しかし、山田市長は両副管理者、東北大大学、村井知事などの見解・助言を無視、公設民営化を主張、独断で進めようとしている。

そんな中、緊急報告「白石市の5月臨時市議会（5月22日）、「疑惑の補正予算提出と前代未聞の修正動議“の顛末～「補正予算」提案に至る山田市長の暴走を阻止しました～」のチラシが修正動議に賛成した9名の白石市議会議員連盟で1市2町（白石市・蔵王町・七ヶ宿町）に新聞折り込みで配布された。本来専決処分すべき案件「コロナ感染防止対策の事業者向け協力金（30万円=予算総額1.3億円）」と抱き合わせて「刈田病院経営形態調査委託料（以下、委託料：予算額330万円）を臨時議会に提案した。（※委託料=経営形態を公立ではなく、民間に委託する指定管理方式や民間へ譲渡を検討するために調査委託料）

問題点として①他の予算案との抱き合わせで、委託料を否決できないようにした。②刈田病院の正副管理者が協議・同意の上、白石市外二町組合に提案し議論すべきなのに白石市単独で決めようとしている。

よって委託料を削除するという修正動議を行い、僅差で山田市長の暴走を阻止したという内容のものだ。

#### 《地域医療と自治体病院の再編・改革とは？》

地域医療の拠点である自治体病院は地域の住民の健康を守る、地方自治にとって重要な役割を果たす行政組織である。世界で突出する我が国の少子高齢化と人口減少を考えれば、限りある医療資源を効率的に提供する体制を確立することは喫緊の課題である。国は2014年6月成立の「医療介護総合確保促進法」で都道府県に「地域医療構想」の策定を義務付けた。現在、構想区域ごとに【地域医療構想調整会議】が設置され、病院の再編・改革の議論が行われている。しかし、病院の再編・改革は簡単ではない。刈田病院は古い歴史を持ち、中核病院は比較的歴史が浅いという組織文化

の違い、多様な経営主体と職員（医者も含む）の身分変更などの解決すべき問題が多い。自治体の首長には、それらを議会、住民・患者に丁寧に説明し理解を得る重要な責務がある。残念ながら山田市長の姿勢はその対極にある。

#### 《コロナ禍で見えてきたこと、これから社会は？》

新自由主義と市場原理主義、緊縮財政が世界を席巻、医療（保健所、病院、医者・・・）や福祉関連の削減が徹底して行われてきた。日本も例外ではなく、病院の再編・改革は今も引き続き行われている。その最中に、コロナ禍となつた。イタリアの医療経済学者デビット・スタッフラー氏は、過去の膨大なデータを根拠に「人を殺すのはウイルスではなく、緊縮財政だ」と警鐘を鳴らした。ドイツと英国を比較、致死率はドイツが低く、英国は高かった。両国とも緊縮財政だがドイツは医療制度を維持、対策が早くとれた。英国は医療制度を弱体化させ、対策も遅かった。そして、新たなニューディール政策①経済政策の中心に健康と人②大企業の救済だけではなく終息後に人々が復職できる政策③公衆衛生への投資の3つを提言している。

英国在住のブレディみかこさん（保育士、ライター）は、人類学者デヴィット・グレーバー氏が提唱している「ケア階級＝医療、教育、介護、保育、運転手、コンビニの店員、ゴミ収集作業員など他者をケアする仕事をしている人々」を紹介。今日の労働者階級の多くはこの人々であり、工場の労働者が主だった昔とは違う。コロナ禍で明らかになったのは、この人々がいなければ社会は回らないということだった。これに對峙するのは「ブルシット・ジョブ（どうでもいい仕事＝「経済界」や「金融界」）、本当に必要な仕事ほど低賃金、軽視という状況、それが当たり前の社会になっている。「命か経済か？」でコロナの政策が語られている。これはおかしい。「命と経済」は、等価ではない。今日の経済が多くの「ブルシット・ジョブ」を作り出すことによって社会が回っているからである。

次回は、その後の山田市長の動きと「社会的共通資本としての医療」を考えてみたい。

〈白石憲法九条を守る会 丸山勝寿〉

## 「青い目の人形」が語り掛けることとは？

丸森 9 条を守る会が発足して 6 年目を迎えた。館矢間町づくりセンターで「戦争を語り継ぐ集い」を開いてから 5 年が過ぎた。写真の人形は、今から 95 年前、悪化した日米関係の改善のために新日本であった宣教師のギューリック博士が「世界の平和は子どもから」をスローガンに、人形を日本に送ろうと呼び掛けて送られた約 13000 体余の内の 1 体「友情人形」ローズマリーである。「友情人形」は日本全国の小学校に迎えられ、日本からもアメリカに「答礼人形」が送られたという。当時、野口雨情作詞の童謡「青い目の人形」が歌われていたこともあり、一般に「青い目の人形」と呼ばれた。

しかし、戦争が激しくなり、鬼畜米英の思想と敵愾心を煽る教育の一環として、多くの小学校では子どもたちの前で燃やされ、竹槍で突かれ、切り刻まれた。子どもたちどんな思いで見ていたのだろう。

本来であれば、存在してはならないはずの「人形」が、なぜ残ったのだろうか。



ローズマリーは、裸の姿でしかも髪の毛が切られた姿で丸森町金山図書館の金庫の奥の段ボール箱から偶然発見された。何を思って処分しなかったのであろうか。そして、写真のように甦らせた方々の思いとは何なのだろうか。

〈丸森 9 条を守る会〉

## 大河原九条の会は結成以来10数年たちました



大河原九条の会は結成以来 10 数年がたちます。以来「憲法学習会」「講演会」「戦争を語る会」「靖国映画を見る会」、そして憲法九条を守るために街頭でのハンドマイク活動、国道 4 号線沿いで

スタンディングなど、日本新婦人の会や母親連絡会の方たちと一緒に行動してきました

ここ数年は月一回の拡大事務局会議での情勢討議や活動方針のもとで、主に署名活動やスタンディングを月 2~3 回の割合で実施してきましたが、コロナウイルス渦中のもとで最近は会議、活動とともに休止状態にあります。安倍自公政権はモリカケ以来その中身は全く反省もなく、ますます国民から離れた政治の私物化、暴走に拍車をかけています。そして、このコロナ禍の中でも執拗に九条改憲を言い続けています。

一刻も早くこの安倍政権の退陣をもとめ、九条の会の活動を再開したいと思います。

〈大河原九条の会 鈴木詔一〉

## 一緒に活動してみませんか

七ヶ宿九条の会、蔵王憲法九条の会、丸森 9 条を守る会、角田憲法九条の会、白石憲法九条を守る会、大河原九条の会、村田 9 条を守る会、柴田町 9 条を守る会、川崎町憲法 9 条の会、しばた協同クリニック・あおぞら 9 条の会、みやぎ仙南青年九条の会、仙南生協九条の会  
※仙南には以上の各地域、職場の 9 条の会があります。興味のある方はご連絡下さい。

事務局：丸山（080-8203-7447）

# ストップ！ 改憲発議

戦争へつながる

戦争への道につき進む9条自衛隊条項追加や戦時下の国家総動員につながる

「緊急事態条項」追加など、安倍首相の憲法改正は平和な日本をおびやかすものです。

このコロナ禍に憲法改正発議をしようとする安倍首相の暴走をストップさせましょう。

「桜を見る会」の  
公私混同！  
権力私物化！

モリカケ問題  
だってまだ解明さ  
れていませんよ！

コロナ対策での  
不信感つのる対策  
！全国一斉臨時休校  
！安倍のマスク  
！検査なき自粛  
！専門家会議  
の記録なし  
！自分の家族に  
自粛要請できず  
居直る首相に唖然

コロナ禍  
なぜミサイルを爆買い？  
イージスアショア購入費  
は6000億円！  
命や暮らしにお金を使う  
ことが大事でしょ！



コロナ禍で緊急事態宣言発出  
を憲法改正「緊急事態条項」  
追加につなげるなんて、悪質  
な便乗です！緊急事態宣言と  
緊急事態条項は別物です！

検察長を意のままにしたいので  
「検察庁法」を変えたかったのですか。  
しかも3賭けマージャンをした首相一押  
しの黒川検事長の処分はなんと訓告！  
法の番人が悪い事をしても安倍首相の  
肝いりはひいきされるんですね。